

2019年度

生きものアカデミー

捕って、調べて、食べて、遊ぶ!

参加者募集



生きる力
問題解決能力
自主性を育みます

もし人類が減びて君だけになっても「生き物アカデミー」で学べば生きていける!

写真2：笹びたしで魚とり（6月、7月）



写真3：投網を練習しよう（10月、11月）



【いつ】毎月第3日曜の9時半～

【対象】小学生以上

主催：NPO法人霞ヶ浦アカデミー

【どこで】道の駅たまつくり（茨城県行方市）

【参加費】無料

※詳細は裏面で

写真1：カヌー体験（8～9月）





2019年度 生きものアカデミー 募集要項

「生き物アカデミー」は、霞ヶ浦で魚を捕って、遊んで、環境学習を行うことで、“なぜ”“どうして”と考える力を養います。今年度は伝統的な漁業を中心にどのように魚を捕るか学びます。また葦舟を作って実際に乗ってみるという活動も続けています。舟の材料となる葦を刈ることで、霞ヶ浦の浄化、生物の産卵場の整備につながる活動です。

【生き物アカデミー】

(日時) 毎月第3日曜の9時半～正午
(場所) 道の駅たまつくり
(対象) 小学生以上〈定員20名〉
(参加費) 無料
(各回のテーマ)

月日	テーマ
4月21日	フナの産卵調査
5月19日	「たかっぼ」製作と魚とり
6月16日	「たかっぼ」引き上げと「笹浸し」製作
7月21日	「笹浸し」引き上げと魚とり
8月18日	カヌー体験
9月22日	カヌー体験
10月20日	「投網」教室1
11月17日	「投網」教室2
12月22日	葦舟をつくろう1 葦刈り
1月19日	葦舟をつくろう2 葦舟パーツ組み立て
2月16日	葦舟をつくろう3 葦舟に乗る

※テーマは多少変更になる場合がございます



たかっぼ：水底に沈めてウナギを捕る漁具です。魚を行わない冬期を利用して、自重で水底に沈むように水にひたし、竹に水分をしみ込ませ重くしておきます。



笹浸し：主に小さなエビや小魚を捕る漁具で、水底に沈め、しばらくすると、物陰を好むエビや小魚が身を隠すために枝の間に入ってきます。そこをゆっくり引き上げ網にふるい落とす漁法です。

《会場案内》道の駅たまつくり（茨城県行方市玉造甲1963-5）



葦舟



至かすみがつら市

講師紹介



額賀 勝男
副理事長。行方市出身。幼少期の経験から漁法などを受講生に伝えてくれる



森 保文
国立環境研究所。カヌーマラソンIN丹沢湖スラローム艇部門準優勝。



浜田 篤信
元茨城県内水面水産試験場長。幼少期を宮崎県の漁村で育つ。



菊地 章雄
茨城大学社会連携センター。石岡市出身。生き物アカデミーのOB。

主催：NPO法人霞ヶ浦アカデミー

お問い合わせ：080-6607-1309 / kasumigaura.academy@gmail.com（事務局 菊地章雄）

NPO法人霞ヶ浦アカデミー

海夫通信.com

これまでの活動についてはFacebook/ブログ「海夫通信.com」をご覧ください